

平成 20 年度 千葉大学教育学部小学校教員養成課程 AO入試Q & A

【2007 年 8 月 22 日更新版】

【千葉大学教育学部のAO入試とは？】

Q AO入試とはどのような入試ですか？

A 審査の基準や方法が、一般入試とは大きく異なります。AO入試では大学での勉学や卒業後のキャリアへの意欲や熱意と適性、また、他者を理解し、コミュニケーションをはかる力や自分自身を表現する力を見ようとしています。

Q 受験生にとってAO入試はどのようなメリットがありますか？

A 大学が求める学生像を考え、自分自身の適性をゆっくりと見きわめながら進路を決めることができます。また、自分自身の長所をアピールするチャンスがあります。

Q AO入試と従来の推薦入試とはどう違いますか？

A 推薦入試では高等学校からの推薦書が必要ですが、AO入試ではそれがありません。自分の意志だけで受験することができます。

Q 千葉大学教育学部小学校教員養成課程のAO入試ではどのような能力を見るのですか？

A 本課程は小学校教員をめざす人を専門に養成する課程です。子どもたちの成長を温かく、おおらかに見守ってゆく教員としての資質を見るために、このAO入試では教育への意欲、人間関係を築く感性や誠実さ、協調性や責任感、学ぶことへの探究心や好奇心などを総合的に評価します。

Q 他の大学のAO入試と比べてどのような特徴があります？

A 第一に、第2次選考で「小学校交流体験試験」を行うことです。教育学部附属小学校における子どもたちとのふれあいの中で、相互にコミュニケーションをはかる力を見ます。また、第1次選考では小学校教育に関するミニ講義と学校教育に関するVTRの内容をふまえた「課題レポート」を課します。

第二に、第2次選考の合格者（合格内定者）は、大学入試センター試験を「資格試験」として受験することです。受験した科目のうち、成績のよかった3教科3科目の合計点が60%に達していた人すべてが「最終合格者」となります。

Q 地域選抜枠とは何ですか？

A このAO入試の第三の特色は、「地域選抜枠」があることです。AO入試では将来の学校教育に貢献する熱意を持った人を広く求めています。特に千葉県の教育を支えていく情熱を持った地元出身者を求め、平成20年3月に千葉県内の高等学校、中等教育学校を卒業見込みの人、高等専門学校第3年次修了見込みの人を対象とした「地域選抜枠」を設け、募集人員50名のうち30名をこの枠での合格者とします。

Q 小学校教員養成課程以外ではAO入試を行わないのですか？

A 平成20年度入試においては、他の課程でのAO入試は実施しません。ただし、小学校教員養成課程を除く全ての課程で推薦入試を実施します。生涯教育課程では、社会人特別選抜に加え県国子女特別選抜入試も行います。

【出願資格】

Q 受験の出願には事前相談やエントリーは必要ですか？

A このAO入試では特に必要はありません。

Q 浪人生や高校卒業程度認定試験・大検合格者でも受験できますか？

A できます。教育の勉強をしたい人、卒業後に小学校教員をめざす人なら、だれでもこのAO入試を受験できます。ただし、地域選抜枠についてはその対象とはなりません。

Q 「地域選抜枠」をもう少し詳しく説明してください。

A 募集人員50名の中に地域選抜枠30名が含まれており、地域選抜・一般選抜という区別があるではありません。平成20年3月に千葉県内の高等学校、中等教育学校を卒業見込みの人と、高等専門学校第3年次修了見込みの人は、自動的に地域選抜枠の対象者となります。

Q 家が千葉県でなくても、高校が千葉県なら地域選抜枠に入るのですか？

A どこに住んでいるかに関係なく、千葉県内にある高等学校や中等教育学校、高等専門学校の現役受験生は地域選抜枠の対象者となります。

Q 「地域選抜枠」は在学している高校が千葉県内にあるということで、受験生の居住地が県内ということではないのですか？

A そうです。千葉県在住でも千葉県以外の高校を卒業見込の方や、浪人生は「地域選抜枠」の対象外となります。

Q 「地域選抜枠」該当者は自動的にその枠内での選抜となるのですか？「地域選抜枠」とそれ以外とを選択できるということではないのですか？

A 千葉県内の高等学校等の現役生は、自動的に「地域選抜枠」での選抜対象となります。

Q AO入試は選修別に募集していますが、選修の第2志望以下では選考の対象とならないのですか？

A 選修別で第1志望のみの選考となります。

Q 教員になるつもりはないのですが、受験できますか？

A 出願資格に問題はありますが、このAO入試では「小学校教員になろうとする強い意欲を有していること」を出願要件とします。

Q 30歳の社会人ですが、受験できますか？

A できます。教育に情熱を持っている人であれば、年齢などに関係なく受験できます。

Q 58歳なので入学しても卒業後に公立小学校の教員採用試験を受けることはできないと思いますが、受験できますか？

A 小学校教育は公立の学校だけで行われているではありません。教育を学び、教員をめざしたい人であれば受験できます。

Q 身体に障害があっても受験できますか？

A できます。学生募集要項に記載されている「事前相談」の制度を利用することをお勧めします。

【他の試験との併願】

Q 千葉大学教育学部の一般入試や推薦入試との併願はできますか？

A できます。ただし、このAO入試に合格して入学手続きをした場合は、一般入試を受けても合格できません。

Q 千葉大学の他の学部や、他の国公立大学のAO入試や推薦入試、一般入試との併願はできますか？

A できます。ただし、このAO入試に合格して入学手続きをした場合は、他の国公立大学の一般入試を受けても合格できませんし、AO入試や推薦入試に合格しても入学手続きはできません。また、他の国公立大学のAO入試や推薦入試に合格して入学手続きをした場合は、このAO入試に合格しても入学手続きはできません。

Q このAO入試に合格したら、千葉大学や他の国公立大学の一般入試を受験できないのですか？
A このAO入試に合格しても、入学手続きをしなかった場合は合格辞退者として扱われます。その場合は一般入試を受けて合格者となることはできません。

Q このAO入試志願は単願でなくてもよいのですか？
A 単願でなくてもかまいません。ただし、他大学等のAO入試や推薦入試等が単願を求めている場合もありますので注意してください。

【出願手続】

Q 志望する選修は出願時に予め決定しておかなければならないのですか？
A 選修別に学生を募集していますので、出願時に志望する選修を決めてください。選修制については学生募集要項の説明を読んでください。

Q 高校の成績証明書や推薦書を出せば合否の判定で考慮してもらえますか？
A 高等学校の調査書やそれに相当する成績証明書は出願時に提出が必要で、合否判定の資料となります。推薦書は提出書類ではありません。

Q 「活動履歴書」に書けるような顕著な実績がないのですが、どうしたらよいでしょうか？
A スポーツ大会などで飛び抜けた成績を求めているわけではありません。実績そのものが重要なのではなく、さまざまな活動によってどのようなことを身に付け、学んできたかを重視します。

【第1次選考】

Q 第1次選考の合格者の人数は何人ぐらいですか？
A 第1次選考の合格者は募集人員の3倍を目安とします。

Q 試験の開始時刻に遅刻しても受験は認められますか？
A かならず指定した時刻に集合してください。

Q 課題レポートというはどのような内容の試験ですか？
A 小学校教育についてのミニ講義と学校教育に関するVTRの内容をふまえて、与えられた課題に対して考えをまとめてもらいます。

Q 提出書類はどのような観点から見るのですか？
A 出願時に提出してもらった「志望理由書」「活動履歴書」「調査書」の内容を、本学部の学生として学ぶ意志、小学校教育員への意欲・適性などの観点から総合的に評価します。

Q 選修毎に試験内容は異なるのですか？
A 音楽科選修志望者のみ第2次選考の面接時に基礎実技を課すほかは、同じ内容の試験となります。

【第2次選考】

Q 小学校交流体験試験とは、どのようなものですか？
A 教育学部附属小学校において、与えられた課題にもとづいて児童との交流を行います。子どもたちと円滑にコミュニケーションをはかる力や自分自身を表現する力を評価します。

Q 小学校交流体験試験ではどのような活動を行うのですか。また、どのような観点から評価するのですか。

A 小学校交流体験試験の内容については、第1次選考終了時に詳細をお知らせします。意欲・熱意、子どもの言動を理解し自分自身を表現するコミュニケーションの能力、交流体験そのものに対して観察して振り返る省察力、の3点を特に見ます。

Q 試験の開始時刻に遅刻しても受験は認められますか？

A かならず指定した時刻に集合してください。

Q 風邪気味でも試験を受けられますか？

A 小学校交流体験試験では子どもたちとの接触がありますので、風邪や感染症のある場合は辞退していただくこともあります。

Q 小学校体験交流試験では小学校に行くそうですが、どのような準備が必要ですか？ また、どのような服装で行けばよいのですか？

A 準備は必要ありません。派手な服装やカジュアルな服装を避け、整った服装をしてきてください。

Q 「面接」ではどのようなことを聞かれるのですか？

A 提出書類や課題レポート、小学校交流体験試験の内容等、それまでに蓄積されたものについて、振り返りながら質問をします。また、教育についての基礎的な考え方についての質問、大学での学習や教職への意欲についての質問をするほか、音楽科選修志望者に対しては基礎実技を課します。

【大学入試センター試験】

Q センター入試を「資格試験」として課すというのはどういう意味ですか？

A 大学で教育を受けていくためにはそれにふさわしい学力も必要ですが、このAO入試では学力そのものを見るというより、大学教育に適応できる力があるかを見ようとしています。そこで、「受験した科目の中から高得点順に3教科3科目を採用し、その合計点が60%に達している人すべてを最終合格者とする」というのが「資格試験」の意味です。ただし、その3科目中に0点の科目がないことを条件とします。

Q 以前に大学入試センター試験を受けているのですが、もう一度受ける必要がありますか？

A センター入試の前年度利用は行いませんので、以前に受けている人も必ず平成20年度大学入試センター試験を受けてください。

Q センター試験を2教科2科目しか受験しなかった場合はどうなるのですか？

A たとえ3科目分の60%を越えていても不合格となります。

Q センター試験の3教科3科目は予め届け出るのですか？

A 受験した科目の中から、成績のよい方から3教科3科目を自動的に取りあげます。

【合格発表】

Q 「合格内定」と「最終合格」はどう違うのですか？

A 第2次選考の合格者を「合格内定者」とし、大学入試センター試験を資格試験として課します。それが60%に達していれば「最終合格者」となります。

Q 合格発表はいつ行われますか？

A 「合格内定発表」は平成19年11月9日に、「最終合格発表」は平成20年2月9日に行います。

Q いわゆる補欠合格はありますか？

A 追加合格は行いません。このAO入試による合格者が、募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の前期日程の合格者で補充します。

【受験票・合格通知等の受信】

Q 受験票や合格通知はどのようにして受け取るのですか？

A 次のような手順となります。なお、「受験票送付用封筒」「入学試験関係書類送付用封筒」

「宛名シール」は、出願時に提出してもらいます。

- ・ 出願書類を受理した際に、「受験票」と諸連絡を記した書類を「受験票送付用封筒」に記入された住所に送付します。
- ・ 第1次選考の合格者には「第1次合格通知」と諸連絡を記した書類を、不合格者には「不合格通知」を、「入学試験関係書類送付用封筒」に記入された住所に送付します。
- ・ 第2次選考合格者（合格内定者）には「第2次選考合格通知」と諸連絡を記した書類を、不合格者には「不合格通知」を、「宛名シール」に記入された住所に送付します。
- ・ 最終合格者には「最終合格通知書」と入学手続きに関する書類を、不合格者には「不合格通知」を、「宛名シール」に記入された住所に送付します。

Q 大学入試センター試験の「成績請求票」はどのように扱うのですか？

A 第2次選考の合格者（合格内定者）には、その後に「平成20センター試験成績請求票（国公立AO入試用）」を本学部あてに送付してもらいます。詳しくは「第2次選考合格通知」に同封する書類でお知らせします。

【オープンキャンパス】

Q オープンキャンパスには必ず参加しなければなりませんか？

A 出願条件として必要ではありませんが、本学部の理解のためにできるだけ参加してください。

Q オープンキャンパスでは試験会場の見学ができますか？

A オープンキャンパスに参加した人と、参加しなかった人との間に試験の不公平が生じてはいけません。試験会場の見学はできません。また、試験の内容に関する質問にも、一般に公表されていること以上にお答えすることができません。

Q オープンキャンパスは高校2年生でも参加できますか？

A 高校2年生でも1年生でも参加できます。

【小学校教員養成課程について】

Q 小学校教員養成課程ではどのような免許・資格が取得できますか？

A 小学校教員養成課程の学生は、卒業と同時に小学校教諭1種免許状を必ず取得できます。そのほかにも中学校・高等学校の各教科の教員免許や、特別支援学校教員免許、幼稚園教員免許、養護教諭免許を取得できる機会が広く開かれています。また、社会教育主事、学芸員、司書の資格も取得が可能です。

Q 選修ごとに取得できる免許に違いはありますか？

A 小学校教員養成課程のすべての学生は、教育全般や小学校全教科の教育について履修します。卒業時に取得できる小学校教員免許状が、選修によって異なるわけではありません。それ以外の免許状は、一定の試験や手続を行うことによって取得が可能となります。選修というのは、小学校の各教科や関連する領域について、特に重点を置いて履修することにより、特定の分野に長所をもった小学校教員を養成するために設けている制度です。

Q 千葉大学教育学部の小学校教員養成課程の授業にはどのような特色がありますか？

A 小学校教員になるために必要な科目がすべて網羅されているほか、教員になってすぐに役立つ「小学校課程に関する科目」が約80科目も開かれている点が特色です。例をあげれば、「子どもの本と読書」「生活と数」「遊び道具の科学」「子どもと手仕事」「クラスで作る音楽表現」「絵本・紙芝居・ペープサート」「ものづくり入門」「メディアリテラシー教育」「総合的な学習の時間(小学校英語入門)」「子どもと救急法」「いじめ・不登校と子ども理解(小学校)」「気になる子どもの心理と教育」「教え方と子どもの理解」などがそうです。また、特定の分野の力量をつけるために、選修ごとに「選修に関する科目」を開設しています。

Q 教育実習は何年生でどのくらいの期間ありますか？

A 小学校での教育実習は1年次から3年次にかけて段階的に履修し、3年次には通常の小学校勤務に準じた本実習を4週間行います。4年次には、小学校教員以外の免許状に関わる教育実習を2週間（養護教諭免許の取得希望者は4週間）行います。

Q 卒業論文ではどのようなことを研究するのですか？

A 小学校教育に関わる広い範囲から自分の卒業論文のテーマを設定し、研究することができます。卒業論文指導教員を所属する選修にかかわらず選ぶことができるのも、本学部の特色の一つです。

Q 入学後に選修や課程を変更することはできますか？

A 所定の手続きを取り、審査を受けることによって、原則的に2年次から選修や課程を変更することも可能です。

【その他】

Q A O入試の合格者に対して入学までに宿題や課題は出されますか？

A 特にありません。

Q A O入試で入学した学生と一般入試で入学した学生とで、入学後の学習に違いはありますか？

A まったく違いはありません。ただし、A O入試の改善点などを検討するために、入学後の様子をうかがうことがあります。

Q 入学検定料はいつ払うのですか？

A 志願書類の提出とともに検定料を払い込んでいただきます。

Q 大学に奨学金制度や授業料などの免除制度はありますか？

A 日本学生支援機構の奨学金などが利用できます。また、授業料の全額または半額免除や猶予、分納などの制度があります。

【2007年8月22日更新情報】

Q 音楽科選修の基礎実技の「ピアノによる弾き歌い」の課題では、歌の歌詞は1番だけ歌うのですか。それとも全部歌うのですか。

A すべての歌詞が歌えるように（3番までの歌は3番まで等）練習しておいてください。

小学校学習指導要領解説音楽編の記述に従って、「越天楽今様」は2番まで、「われは海の子」は3番までとなります。

千葉大学教育学部の入試に関する情報や学生募集要項の請求先、以下にお問い合わせください

千葉大学教育学部学務グループ（A O入試担当）

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号電話043-290-2514

メールでのお問合せ

AO-kyouiku@office.chiba-u.jp

なお、メールでの問い合わせの際は、問い合わせの内容がわかるように、必ず「件名」を入れてお送りください。